
いろいろキャラ焼肉大食いバトル！

竜斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いろいろキャラ焼肉大食いバトル！

【Nコード】

N3736Z

【作者名】

竜斗

【あらすじ】

いろいろなキャラが焼肉大食いバトルに参加する！
作者さんも6名参加！！

果たして、優勝する者は、誰だ！？

プロローグ(前書き)

焼肉大食いバトルが始まったときっかけは・・・。

プロローグ

とある焼肉店にて・・・。

2階にて。

スマブラメンバー

「カンパ〜イ!!!!!!」

スマブラメンバーが盛り上っていた・・・。

マルス

「いただきます!!」

ウォッチ

「マスハンサンノ気分デ私達ヲ焼肉屋ニ招待シテクレマシタ!!」

ドンキー

「カルビはやっぱり美味え〜!!」

2階には、マリオ、ドンキー、ピット、ロボット、カービィ、メタナイト、オリマー、

マルス、アイク、ロイ、レッド、リュカ、ウォッチがい

マリオ

「おい、何ほざいとんじゃ、ゴラ!!!!!!!!!!!!!!」

マリオはロイの服の首側の衿を掴む。

ロイ

「だから、塩の方が美味いに決まってるだろ!!!!!!!!!!!!!!」

マリオ

「嘘こけ!!!!!!!!タレの方が何倍も美味いわ!!!!!!!!!!!!!!」

ピット

「まあまあ、二人共……」

ピットは2人の暴走を落ち着かせようとする。

その時……。

アイク

「お前等……」

マリオ&ロイ

「えっ?」

「重要なのはタレでも塩でもねえ！ ”焼き” だあ！……！！
焼き肉は肉汁がいのちのことだああああああ！！
！……！！」

アイクの背後には牛が出現し、牛の鳴き声が聞こえた！！

ピット

「な、何だあれは……！？」

メタナイト

「あれは……」

メタナイト

「『焼肉奉行』だ」

『いろいろなキャラ焼肉大食いバトル！』

プロローグ（後書き）

次回、いろいろなキャラ達が焼肉大食いバトルに参加する！！

次々に現れていく新手（前書き）

スマブラメンバーだけでは無い・・・更に・・・。

次々に現れていく新手

リリカルなのはの世界では……。

なのは、フェイト、はやて、スバル、ティアナ、エリオ、キャロ、シグナム、シャマル、ヴィータが外で焼きそばを食べていた。

エリオ

「美味しいな〜ん？」

はやて

「？それホンマか！？スマブラメンバーが焼肉屋行つとるやと!？」

ローゼンメイデンの世界では……。

ジュン、真紅、雛苺、金糸雀、蒼星石、翠星石がパソコンを見ていた。

ジュン

「……スマブラメンバーが焼肉屋行つてるだど？」

真紅

「私達も行く？暇潰しになりそうだし」

雛苺

「やきにく やきにく」

プリキュアの世界では……。

響、ゆり、ひかり、くるみ、咲、えりか、祈里、奏、せつなが外に散歩している。

響

「ゆりの情報によると、スマブラメンバーが焼肉屋に行ってるそうだよ」

せつな

「本当！？じゃあ今すぐ食べに行こうよ！」

ぷよぷよの世界では……。

サタン、シェゾ、ドラコ、レムレス、シグ、クルークが話し合いをしていた。

クルーク

「フェーリの話によると、スマブラメンバーが焼肉屋行ってる様子い」

サタン

「本当か？それは良い情報だな」

ドラコ

「じゃあ今すぐ行こうよー！こっちもお腹ペコペコー！」

東方の世界では……。

霊夢、魔理沙、咲夜、レミリア、フラン、アリスが森で一人一人別々に行動していた。

霊夢

「……『スマブラメンバーが焼肉屋に行っている』……?」

アリス

「これは良い情報ね……」

フラン

「たまには、肉つても良いね」

魔理沙

「おっしやく!!肉を死ぬほど食いまくるぞ!!……!!」

銀魂の世界では……。

銀時、新八、神楽、桂、さっちゃん、土方、沖田、勲がラーメンを食べに行っていた。

新八

「何ですか……?」

銀時

「あのスマブラメンバーが焼肉・・・？」

スマブラの世界では・・・。

はやて

「楽しみや〜！！」

銀時

「肉肉肉肉（以下略）」

謎の人物から報告を受けた者達は、スマブラメンバーと同じ2階へ上がって行った。

スマブラメンバーは啞然とする。

ウォッチ

「・・・？」

オリマー

「何ですか、この賑わいは・・・？」

マルス

「・・・フフッ」

その時、黒いコートを纏った者6人が、2階に上がって来た。

6人

「・・・」

その人物は・・・？

『一人ずつ紹介する』とされており、一人ずつ黒いコートを脱ぐそ
うだ。

まず、一人目は、『霊宮空刀』。

炎の帝王シリーズを沢山書いている作者さん。

霊宮空刀

「俺もか・・・よろしくな」

次に、二人目が正体を現した。

二人目は、『紀葉』。

相当のニコ厨で、ドンキーが好きな作者さん。

紀葉

「うれしいのうwww」

次に、三人目が正体を現した。

三人目は、『しら』。

中など、トーク中などの小説を書き続けている作者さん。

しら

「え、頑張ります!!」

次に、四人目が正体を現した。

四人目は、『郡司侑輝』。

スマブラ学校、仮面ライダーズが好きな作者さん。

郡司侑輝

「ま、よろしくな」

次に、五人目が正体を現した。

五人目は、『阪神虎之介』。

気まぐれで、かなり阪神タイガーズを愛する作者さん。

阪神虎之介

「招待されて嬉しいです」

次に、最後の六人目が正体を現した。

六人目は、『ギルバート・デュランダル』。

ネガティブだけどかなり明るい作者さん。

デュランダル

「よろしく」 うっひょひょっう

ピット

「凄いな、作者さんもいるんだ」

次々に現れていく新手（後書き）

次回、ルール説明！

ピット&桂がルール説明だよ (前書き)

開催する前に、ルール説明。

ピット&桂がルール説明だよ

ピット

「とらじわけで」

ピット

「『いろいろなキャラ焼肉大食いバトル!』開催しちゃおうよ! え、まずはこの大会の司会者、ピットと……」

桂

「桂小太郎がお送りする」

ピット

「では、ルール説明だよ!」

ルール

1 6人でチームを組む。

- 2 時々、肉の試練が出る。（何かはお楽しみに）
- 3 もう食べられない時は『もう、食べれません』と言ってギブアップする事。
- 4 最後の一人になった者が優勝となる。

桂

「どうか、よろしく頼む・・・」

ピット

「では、次回から本格的な『いろいろキャラ焼肉大食いバトル！』開催だよー!!」

ピット&桂がルール説明だよ (後書き)

次回、焼肉大食いバトルが開催する!!

メンバー紹介（前書き）

ピット

「・・・あっ、忘れてた。メンバー紹介をするよ。」

読者の皆さん、ごめんなさい」

メンバー紹介

スマブラ組

マリオ

カービィ

リユカ

メタナイト

アイク

マルス

リリカル組

高町なのは

八神はやて

スバル・ナカジマ

エリオ・モンディアル

シグナム

ヴィータ

ローゼン組

桜田ジュン

真紅

雛莓

金糸雀
蒼星石
翠星石

プリキュア組

北条響

月影ゆり

美々野くるみ

日向咲

山吹祈里

東せつな

ぷよぷよ組

サタン

レムレス

ドラコケンタウロス

シエゾ・ウイグイイ

シグ

クルーク

東方組

博麗霊夢

霧雨魔理沙

十六夜咲夜

レミリア・スカーレット

フランドール・スカーレット

アリス・マーガトロイド

銀魂組

坂田銀時

志村新八

神楽

土方十四郎

沖田総悟

近藤勲

作者組

しら

紀葉

霊宮空刀

阪神虎之介

郡司侑輝

ギルバート・デュランダル

メンバー紹介（後書き）

次回、焼肉大食いバトル開催！！

開催、そして・・・。(前書き)

大会、開催!!

開催、そして・・・。

桂

「Ready Start!!」

桂の声によって、焼肉大食いバトルが開催した!!

ピット

「実はピーチ特製のジュースが肉を食べる前に送られるのだ!!
まずは、オレンジジュース!!」

ピット、オレンジジュースを取り出し、全員分のチームに配る。

紀葉

「おお、めっちゃうまそうじゃん!!」

霊宮空刀

「いや、ここは俺に任せてくれ」

しら

「まあ、不味かったら困りますもんね!」

銀時

「美味そう美味そう！新八、飲んでみる！きっと美味しいぞ！」

新八

「銀さんが言うなら・・・分かりました、飲みます！」

新八はオレンジジュースを手取る。

新八

「・・・ゴクツ、ゴクツ・・・ぐばあ！！！！！」

神楽

「！？ダメガネ、どうしたアルか！？」

新八は大急ぎで外に出、縁石につまづいて倒れた！

新八

「はあっっ！！」 ドサッ

> i 3 7 0 8 8 | 4 2 6 0 <

新八

「う・・・う・・・う・・・あ・・・あ・・・」

ピット

「言い忘れてたけど、ピーチの作ったジュースはとても不味いからね
後、次に進む為には肉を1皿完食しなきゃ行けないよ」

魔理沙

「それを先に言えよ!!」

桂

「また、このジュースは耐えられる力（肉の試練に）にも関係している。

つまり、耐えられる力が高いほどジュースに対応出来るのだ」

クルーク

「命をかけた勝負かよ!？」

霊宮空刀

「ゴクツ・・・ゴクツ・・・お、結構美味いじゃん」

しら

「やった!あのジュースに対応出来たんですね!!」

デュランダル

「おお、サンキュー霊宮空刀さん!!」

作者組はジュースをクリアした様だ・・・。

ヴィータ

「ここはあたしに任せな」

シグナム

「ヴィータ・・・お前、ジュースに対応出来るのか？」

ヴィータ

「まあ、分かんねえけど。とりあえず飲んでみるぜ」

エリオ

「お願いしますよ!」

スバル

「果たして、結果はどうなるんでしょう!？」

ヴィータはオレンジジュースを手取る。

ヴィータ

「・・・ゴクッ」

その頃、ヴィータは新八の隣で倒れていた・・・。

ヴィータ

「あ・・・あが・・・」

> i 3 7 0 8 9 — 4 2 6 0 <

一方、他のメンバーは無事クリアした様で・・・。

マルス

「ゴクツ、ゴクツ・・・あっ、美味しいじゃないか。お勧めだね」

マリオ

「おお〜！！マルスサンキュー！！」

リュカ

「やったね、マルス！！じゃあ早速肉を焼いて行くね！！」

リュカはハラミを網の上に焼いた。

シグナム

「もつと肉を食べる！」

スバル

「絶対に優勝してみせる！！モグモグ・・・」

はやて

「他のメンバーに負けたらアカンで！！」

リリカルメンバーも、肉を食べる。

ローゼン組は・・・。

ジュン

「モグモグ・・・おい、どうした、肉をもつと持って来てくれ！！」

雛莓

「わかりましたの〜!!」

雛莓は肉をもつと焼いた。

メタナイト

「・・・カービィ、頼む」

カービィ

「ポヨ」

カービィはもの凄い勢いで肉を吸い込んで行った!

マリオ

「おお〜!!カービィもいてありがたいぜ!!」

マルス

「こっちも手伝う為に食べよう!!」

リユカ

「もう食べてるよ!!」

アイク

「・・・おい!.....!!」

全員（アイク以外）

「!?!」

アイク

「貴様等!!!もつと焼かんかい!!!焼きが甘いぞ!!!」

肉汁を何だと思ってるんだ、このドブネズミども!!!!!!」

マリオ

「ギャアアアアア、ちょっと邪魔しないで下さいよ、奉行!!!」

まあ、スマブラメンバーは焼肉奉行に振り回されながらも、何とか1皿完食と言う事で……。

紀葉

「モグモグ!!!もつと食べるんじゃあああああ!!!」

デュランダル

「これは中々まともな焼肉バトルだね!!!」

阪神虎之介

「モグモグ……1皿完食です!!!」

作者組も、何とか1皿完食出来た……。

桂

「ム・・・皆1皿完食出来た様だな。次のジュースは・・・」

ピットが次のジュースを取り出す。

ピット

「トマトジュース！」

桂

「これを飲めば、激辛カルビに突入だ・・・」

早くも、1皿完食したメンバー達。

果たして、優勝する者は、誰だ！？

開催、そして……。 (後書き)

早くも、1皿完食したメンバー達。

果たして、優勝する者は、誰だ!?

激辛カルビ突入！（前書き）

激辛カルビと脱落ラッシュ・・・。

激辛カルビ突入！

ピット

「次は、激辛カルビまた1皿食べなきゃ行けないよー！！
次のドリンクは、激辛トマトジュースだよー！！」

マリオ

「これ、誰が飲むんだ・・・？滅茶苦茶辛そうなんだが・・・」
スマブラメンバー全員、激辛トマトジュースを見ている・・・。

マルス

「僕に任せておいてよ」

マルスは激辛トマトジュースを手に取り、それを飲む。

マルス

「ゴクツ・・・ゴクツ・・・プハアツ、これも、美味しいね・・・」

メタナイト

「忝い、マルス・・・」

マリオ

「マルスの味覚は常人離れしてるぜ！！」

その時、5人の断末魔が聞こえて来き、5人全員あまりの辛さに炎を吐いた!!

魔理沙

「ゲギャギャアアアアアアアア!!!!!!」

銀時

「ハアアアアア!!!!!!」

せつな

「ゲエエエエエ!!!!!!」

シエゾ

「ダアアアアア!!!!!!」

蒼星石

「ハドオオオオオ!!!!!!」

5人全員、外に出、縁石につまづいて倒れた!!

> i 3 7 1 4 6 — 4 2 6 0 <

ピット

「おおっつと!?!?5人が激辛トマトジュースで一気に全滅!?!?
彼等に一体、何が起こったと言っただあ!?!?」

デュランダル

「ゴクッ、ゴクッ・・・おっ、凄え美味いじゃねえか!!」

霊宮空刀

「ありがとうございます〜!!」

しら

「クリアしましたね!次いきましょう!!」

しらは激辛カルビを焼きに入った。

エリオ

「さて、ここは僕が行くよ」

シグナム

「エリオ、頼むぞ・・・」

なのは

「頑張つて!!」

エリオ

「はい、頑張ります!!」

エリオは激辛トマトジュースを手に取り、それを飲んだ。

エリオ

「ゴクッ、ゴクッ・・・」

エリオ

「ダッヒャッヒャッホーウ！！！！！！」

エリオはあまりの辛さ大急ぎで外に出、縁石につまづいて倒れた！！

エリオ

「だっ！！」 ドサッ

> i 3 7 1 4 7 — 4 2 6 0 <

マリオ

「よし、激辛カルビに突入だぜ！！」

メタナイトは激辛カルビを焼きに入った。

フラン

「どんどん食べるよー！！」

霊夢

「他の奴等に負けないで！！」

レミリア

「・・・ムグムグ」

アリス

「ガツガツ!!もつと肉を!!」

咲夜

「絶対に、勝つてみせる!!」

アイク

「!!マリオ!!何度言えば分かる!!タレをつけ過ぎだ!!
肉の美味さは、この肉汁だ・・・!!アムッ」

アイクは激辛カルビを食べた。

アイク

「ムグ・・・ムグムグ・・・!!?ドウアアアアアアアアア!!!!
!!」

アイクはあまりの辛さに炎を吐いた!!

残りの5人

「!?!」

アイクは大急ぎで外に出、縁石につまづいて倒れた!!

アイク

「どああっ!!」 ドサッ

マリオ

「奉行ー！！！！！！」

マリオの声が、焼肉屋から響いた・・・。

> i 3 7 1 4 8 — 4 2 6 0 <

メタナイト

「アイクに、一体何が・・・」

マリオ

「兎に角、邪魔は消えたしさ」

メタナイト

「うむ・・・油断せずに行こう」

何とか、スマブラメンバーは1皿間食出来た。

紀葉

「ムグムグ・・・よっしゃー！！！！1皿完食やさー！！！！」

阪神虎之介

「イエー！！！！この調子でどんどん食べますよー！！！！」

デュランダル

「次の肉は何だろう?」

郡司侑輝

「油断しては行けませんよ」

作者組も、1皿完食・・・。

くるみ

「結構腹が膨れて来たわね・・・」

響

「でも、最後まで生き残る!!」

ゆり

「この肉のデータは・・・もの凄く辛い様だけど私達はその肉に対応出来たと言う訳ね」

咲

「やった〜!!絶好調ナリ!!」

祈里

「でも、まだ油断しては行けないよ!」

プリキュア組も、1皿完食だ・・・。

桂

「次の肉とドリンクは・・・」

ピット

「これね、レモンジュース！」

桂

「かなりの酸っぱさのジュース、次の肉は『ユツケ』だ・・・」

激辛カルビ突入！（後書き）

次回、ユツケでの争い！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3736z/>

いろいろキャラ焼肉大食いバトル！

2011年12月14日21時47分発行